囲む意見交換会

埼玉県幹部と県内企業経営者が意見を交わす毎年恒例の埼玉県産業振興懇談会（埼玉産業人クラブと日刊工業新聞社の共催）。10月20日、その第36回がさいたま市浦和区の浦和ロイヤルパインズホテルで開かれた。登壇した県幹部に対し、日本メタルガスケットの植田耕司社長、関口工業の関口拓造社長、モチダ製作所の持田明雄社長の３人が経営者ならではの視点で質問。人材の確保や育成、中小企業の税負担増などについて真剣な議論が繰り広げられた。

県内人材 どう確保

日本メタルガスケット社長
植田　耕司氏

日本メタルガスケットは埼玉県熊谷市で自動車、オートバイなどの部品の開発、製造、販売をしています。グループ全体の従業員は約６００人、年商80億円の規模です。顧客の動向から生産拠点を海外６カ国に展開していますが、開発は国内で行っています。海外展開で国内の生産量が減産したとはいえ、まだまだ残っています。本社のマザー工場の役割も重要です。現在抱えている問題は、国内での人材の確保が難しくなってきていることです。

埼玉県の有効求人倍率は約０・75倍ですが、東京都は約１・６倍で、多くの労働力が東京都に流れていると思われます。人材の確保ができないと県内企業の長期的な繁栄が難しくなるのではと危惧しています。税収減も懸念されます。企業として、雇用条件改善など努力しなければいけない部分もあると思いますが、県はどのようにお考えか、お聞かせください。

企業の魅力アピール

堀口幸生就業支援課長　求職者に希望する就業先を尋ねると、若い人を中心に東京都を強く意識する傾向が現れています。私どももこうした傾向に強い危機感を持っていまして、県内企業への就職の支援にさらに力を入れたいと考えています。

本年度から始めた取り組みがあります。１点目は県内の企業と学生が直接ふれ合える場を増やすということです。この５月から12月まで切れ目なく合同企業説明会や面接会を開いています。企業を訪問して現場を見学するバスツアーを開く、あるいは企業の経営者を招いて企業研究セミナーを行う、そうしたことでふだん県内企業と接点のない学生にも、県内にこれだけすばらしい企業があるということを肌で感じて、就職を目指してもらいたいと考えています。

２点目は職場定着です。早期離職などで課題を抱えている企業に、経営コンサルタントやキャリアカウンセラーなどのアドバイザーチームを派遣して、課題の洗い出しや職場改善の取り組みを支援する取り組みを進めていきたいと考えています。以上は主に新卒の方を念頭においた取り組みですが、中途採用を含めて一般求職者の方へのアピールも重要と思っています。本年度から県が独自に、企業の魅力を写真などをふんだんに使ってアピールする企業紹介シートをつくり、労働局とも連携しながらそれを求人票とセットで求職者にアピールしていく取り組みを始めました。

堀口氏

前沢氏

前沢幸男企業立地課長　企業誘致をするにあたって、埼玉県は労働力が非常に豊富だということを売りにしております。人材確保に関しては私どもが非常に気にしているところです。昨年５月、これまで県内に立地した企業を対象にアンケート調査を実施しました。その結果、埼玉県に立地して満足しているという回答が91・３％でした。ただ残りの方の内容を聞くと、やはり人材確保に苦労しているという話がありました。

私どもは日ごろからこうしたアンケートに加えて、フォローアップ訪問ということで、立地した企業を訪問して操業上の困ったことがないか聞いています。人材確保について苦労していることがありましたら関係課や関係機関と協力してしっかり対処していきたいと考えています。

山中氏

山中融産業労働部長　県内の中小企業で、いかに優秀な人材に働いてもらえるようにするかが県の一つの役割と思っています。勤め始めてからも長期にしっかり技術を身につけながら仕事を続けてもらうことも大事です。データをみると、学校を卒業してから３年以内にやめてしまうという若者が高校卒業生で約39％、大卒で約31％、その中でも５人未満の小規模企業の場合は高卒で約67％、大卒でも約61％という状況があります。そういう意味では勤め始めたら、しっかり勤められる人をつくっていくことが大事だと思っています。９月定例会（県議会）では、若手社員が職場に定着できるようにということで予算を組みました。

野尻氏

女性の労働参加を

植田社長　人材の確保の解決策の一つは、女性の労働参加率を上げることだと思います。安倍晋三首相は女性の労働参加率を上げて経済成長率を取り戻す、また２０２０年までに女性の管理職を30％にすると話しています。先進国の女性の管理職の割合は米国が43％、ドイツは38％です。日本は４－５％です。これはもちろん国の取り組みではありますが、目標値を達成するには各都道府県の積極的な参加が必要だと思います。埼玉県として女性の労働参加率を上げるために、どのような取り組みをしているか、お聞かせください。県内にある企業が何をするべきかも教えてください。

野尻一敏ウーマノミクス課長　ウーマノミクス課という課名は、47都道府県で埼玉以外にはありません。課の取り組みは大きく分けて三つあります。一つは、「多様な働き方実践企業」の認定で、県が現在、１２３２社認定しています。そういう企業の中には、30％以上管理職の女性がいる企業が７５５社あります。こうした制度を普及しながら進めています。

二つ目は、女性の就業を直接、支援したいということで、さいたま新都心に女性キャリアセンターを設けています。年間１万人ぐらいが利用していて、きめ細かな就業支援を行っています。

三つ目は９月に開催した「さいたまスマイルウーマンフェスタ」のように、全体で女性の活躍を応援するようなムーブメントづくりを行っています。多様な働き方実践企業の中には、認定マークを名刺に刷っている会社もあります。企業の方にお願いしたいのは、ぜひ認定を取って、なかなか人が集まらないというような時に活用してもらえればと思います。

中小企業の人材育成策

関口工業社長
関口　拓造氏

関口工業は、さいたま市中央区に本社があります。主に建設機械やトラック、自動車などのエンジン周りに使われるパイプ等を製造しています。パイプの曲げ加工を中心にプレス、板金、溶接、表面処理、組み立てまで一貫して行っています。ただ建設機械等の部品が多くなり、非常に多品種少量です。そういった面で一人一人個々の技能を必要とする製造工程となっています。人の技能に頼るところが多いので、国内の製造にこだわって工場をやっていきたいと考えています。

製造業の人材育成には技能者の育成と管理・監督者の育成がありますが、固有技能の育成は独自で行わないといけないと思いますが、管理・監督者の育成は他社との他流試合的な教育方法を取らないと、なかなか成長しないと考えています。

第２工場がある福島県には、県が推進している中小企業を対象とした「工場長育成道場」という教育カリキュラムがあり、１グループ４社から５社の管理・監督者を集めて、工場長になるための勉強を半年間にわたり各社の改善活動を交えて実践的に行っています。埼玉県にも埼玉県産業振興公社主催の教育カリキュラムがたくさん用意されていますが、より実践的に人材を育てる教育カリキュラムがあるのか、今後どのように考えているのかをお聞きしたいと思います。

専門校で実践訓練

仲村直基産業人材育成課長　企業における人材育成はきわめて重要な課題です。県では、主に現場の技能者のスキルアップ支援をしています。県内６校・１分校の高等技術専門校において、求職者や在職者を対象に機械加工や溶接など、モノづくりの現場で活躍することのできる実践的な技能者を育成する訓練を行っています。

また企業の従業員の方々を対象とした訓練も重要です。技能検定や電気工事などの資格取得を目指す講習、３次元ＣＡＤも含めたＩＴ活用の講習、ビジネススキルの向上を図る講習など幅広いメニューを用意しています。講習の実施方法については、あらかじめ講習の内容が決まっているメニュー型の講習に加え、企業の個別・具体的なニーズに対応できるよう希望に合わせて内容や日程を調整するオーダーメイド型の講習があります。オーダーメイド型では高等技術専門校の実習設備等を活用した講習と、講師を事業所の生産現場等に派遣して支援する派遣型講習があります。こういった講習を活用しながら従業員のスキルアップにつなげてほしいと考えています。

仲村氏

秋山秀次郎埼玉県産業振興公社理事長　産業振興公社では、新入社員から経営者までの階層別の研修や、製造現場におけるビジネススキル向上のための具体的な研修など、さまざまな研修メニューを用意しています。

他流試合、現場での工場長の育成という話ですが、私どもでは幹部候補育成というテーマで新任管理監督者の研修などのメニューもそろえています。生産管理の現場や現場改善のリーダーの研修でぜひ活用してもらえればと思います。

また今年の６月から、国が全国に設置した中小企業向け経営相談所「よろず支援拠点」の埼玉県の事務局を担っています。ここでは現場の改善研究会を開催しています。全体では16社ほど集まりました。期間は６カ月ぐらいで、各社のボトルネックを中心に、例えばラインの生産性を２倍にするとか、リードタイムを半分にするとか、会社のテーマによって専門家を派遣して支援しています。

今年度末にはその成果を発表する、あるいはお互いの意見を交換する場をつくりたいと思います。自社だけではなく、他社がどんな形で良い成果を出しているのか、そんなところも研修できるような場を設定していますので、ぜひ活用してほしいと考えています。

山中部長　工場長や管理・監督者の育成が非常に重要という話ですが、そういう声や企業のニーズを私どもが把握しきれていない部分があると思います。今後もニーズをより的確に把握して、多くの声を聞きながら充実できるものはしていきたいと考えていますので、意見をいただければと思います。

モノづくり補助金

関口社長　アベノミクスでものづくりの補助金を全国で出されています。その中で人件費などが入りますと非常にややこしい手続きになるようですが、もう少し何とかならないでしょうか。

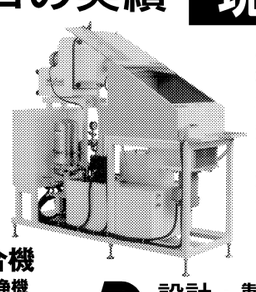
正能修一産業支援課長　この補助金は埼玉県中小企業団体中央会が申し込みの窓口になっています。中小企業庁の管轄ですので、中小企業のみなさま方から「複雑、わかりづらい面がある」といった具体的な声をお聞かせいただければ、関東経済産業局ならびに中小企業庁に伝えて改善していけるように支援したいと思っています。

村瀬泰彦先端産業幹　県では、次世代分野や新たな分野へのチャレンジに対して従来から補助金を交付しています。また今年度からは「先端産業創造プロジェクト」という新しい取り組みを始めました。

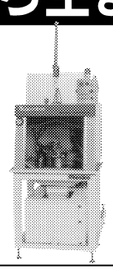
この中で先端産業分野に取り組む企業への補助制度を創設しています。例えば新たにナノカーボンを活用した素材開発等に取り組む企業に50万円の補助金を、今年度28社に交付しています。また新たに航空・宇宙分野に取り組む企業向けに上限２０００万円、２分の１の県の補助金を新たに創設しました。現在７社の企業に取り組みを進めてもらっているところです。できるだけ使い勝手のよい補助金にしたいと考えています。企業の声を聞きながら来年度以降、こういった補助金の充実に努めていきます。

洗浄不良ゼロの実績　現場の改善から生まれた洗浄機

水神・風神複合機
多方向深孔全自動温洗浄機



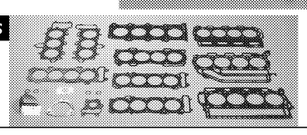
風神くん
CLN400S
全自動温水洗浄＋乾燥機
洗浄・乾燥を自在に行い、1ヶ流し生産に最適です。治具の回転は、インバーターにより制御可能。



竜神くん
TOR-500S
全自動ウォータージェット洗浄機
アルミ合金粗材の内径に残存付着した鋳砂を除去し、さらに内径内部の表面を滑かにする。

詳細は、webでご覧下さい。
やわらか思考のプロ集団
設計・製造・販売
東洋パーツ株式会社
TOYO PARTS
■その他ワーク取付治具はご要望により設計・製作をいたします。
〒369-1311 埼玉県秩父郡長瀞町岩田877
TEL.0494(66)2121　FAX.0494(66)0913
URL http://www.toyoparts.co.jp　E-mail pany@toyoparts.co.jp

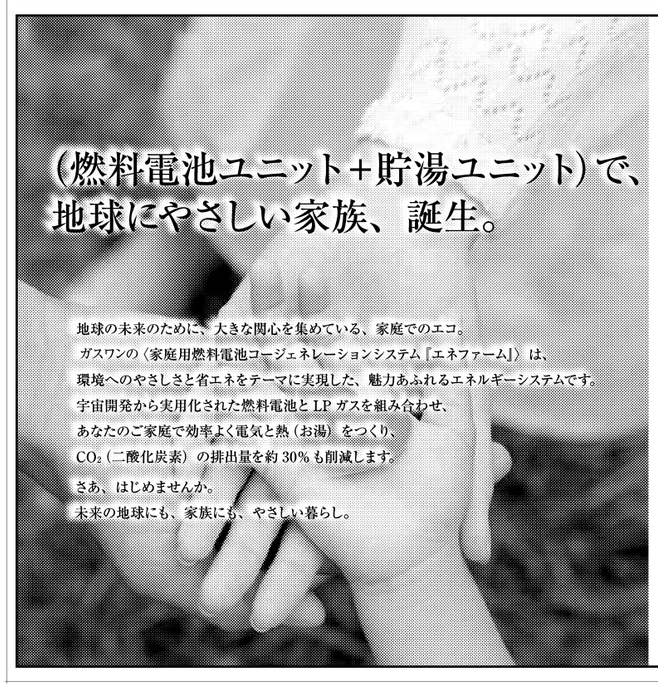
MetalFit　アイデアをカタチに、技術を世界に！



Products

R&D

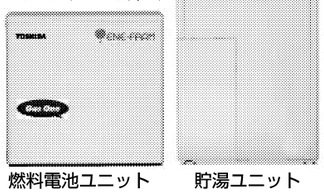
日本メタルガスケット株式会社　住所：〒360-0843 埼玉県熊谷市三ヶ尻3308　TEL：048-532-0911　URL：http://www.jmg.co.jp



（燃料電池ユニット＋貯湯ユニット）で、
地球にやさしい家族、誕生。
地球の未来のために、大きな関心を集めている、家庭でのエコ。
ガスワンの〈家庭用燃料電池コージェネレーションシステム『エネファーム』〉は、
環境へのやさしさと省エネをテーマに実現した、魅力あふれるエネルギーシステムです。
宇宙開発から実用化された燃料電池とLPガスを組み合わせ、
あなたのご家庭で効率よく電気と熱（お湯）をつくり、
CO_2（二酸化炭素）の排出量を約30%も削減します。
さあ、はじめませんか。
未来の地球にも、家族にも、やさしい暮らし。

ガスワンecoプロジェクト
Gas One
家庭用燃料電池コージェネレーションシステム
ENE・FARM
エネファーム

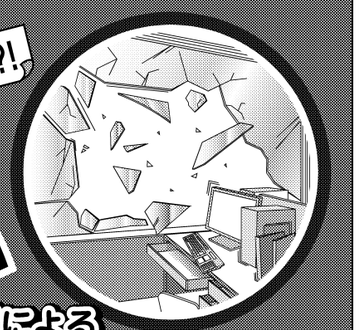
エネファームとは
燃料電池実用化推進協議会によって決定された、家庭用燃料電池コージェネレーションシステムの統一愛称。「エネルギー」と「ファーム＝農場」の造語です。水素と酸素から電気と熱をつくるというシステムの内容が、水と大地で農作物をつくることと似ていること。さらには、自分のエネルギーは自分でつくるという、これからのエネルギーの考え方や、「家庭用燃料電池」は環境にやさしいというイメージを印象づけるために名づけられたものです。



燃料電池ユニット　貯湯ユニット

Gas One　株式会社サイサン　ガスワン サービスセンター　24時間365日受付
本　社：さいたま市大宮区桜木町1-11-5　TEL.048-641-8211
東京本部：東京都港区新橋2-1-1　TEL.03-3539-3130
0120 FreeDial 0120-41-3130
E-MAIL service@saisan.co.jp　URL http://www.saisan.net

割れたガラスによる二次被害から身を守る。
飛散防止ガラスフィルム
破片が落ちない?!
飛び散らない?!



UVカット率99.9%だから、家具や商品の日焼け・色あせを低減させます。
災害などによるガラスの破片飛散を防ぎます
スリーエムジャパン特約加工販売代理店　ISO14001:2004認証取得事業所
お問合せはコチラまで　http://www.dessin.co.jp
株式会社デサン
〒331-0815　埼玉県さいたま市北区大成町4-140
048-651-1881